



お経

皆さんは NHK の『チコちゃんにさらされる』という番組を見たことありますか？私は毎回と言っていいほどよく見えています。とても面白い番組ですね。わかっていないことを面白おかしくあきらかにしていく大好きな番組です。

その12月はじめ頃の放送で仏教の基本となる質問をチコちゃんはしています。みなさんおぼえておられるでしょうか。その質問というのは「お経って何？」っていうものでした。さて皆さんは皆さんは5歳のチコちゃんにどのように応えますか？

さして私住職がまずお応えしましょう。チコちゃんのようなわかりやすい答えではないと思いますが、ご容赦ください。お経というのは仏教を開かれたお釈迦さま、ゴータマシッタラダのお言葉が収められています。お釈迦さまが書かれたものではないですね。お釈迦さまが涅槃に入られ（一言で言えば亡くなられたということ）しばらくした後お釈迦さまのお弟子さん方が、お釈迦さまがお弟子さん方に諭されたお言葉を後世にもしっかりと伝えていこうということになり、文字に書きとめておこうとされました。それが今私たちが読んでいますお経なのです。いわば私たちが悟りを開くためのアドバイス、私たちが人間として生きていくた

今日のことば

お経とは

生きていく人に向けられた

お釈迦様のアドバイス

チコちゃん

めのアドバイスが書かれているのです。そういう視点からいうとお経は亡くなられた方に読んであげるものではなく、今生きている私たちが聞いていかなければならないものとなるのです。

法事などの時、僧侶は仏壇に向かってお経を誦読していますので誤解されてい

たかもしれません。実は僧侶は仏様の代わりに声に出してお経を読んで、そ

して僧侶もお経を聞いているのです。僧侶を含めた人間みんながお釈迦様の私

たちへのお諭しを大切な言葉として聞いている姿が法

事の場のすがたなのです。ただ私たち僧侶が誦読しているお経は漢文をそのまま読んでいますので聞いて

いても何を言っているのかわからないのが現状です。ですから浄土真宗ではよくお経の後にお説教として誦したお経のお心が話されるのです。お経の内容をしつかり知りたいという方は住職まで申し出て下さい。ゆっくりお伝えさせていただきます。

漢文をそのままを聞いてい

るので意味は全く伝わらないかもしれません、ただ聞いてい

るときは少なくともお釈迦様からの尊いア

ドバイスなんだと思っ



今年最初の法座です

涅槃会 兼 井波別院 巡回法座

日時 2月7日(日) 午後1時30分より3時30分まで

会場 常入寺本堂 布教使 未定

参加費 無料 (ただし、何度かお賽銭を集めさせていただきます。)

また、井波別院への祠堂並びに万人講の受付をいたします。

※新型コロナウイルス感染症拡散予防のためマスクをつけてお越しください。

同居されている方がおられるのならば、できますれば皆さんでお読みください

御文をいただく 其の五七

五帳目第八通①

それ、五劫思惟の本願といふも、兆載永劫の修行といふも、ただわれら一切衆生をあながちにたすけたまはんがための方に、阿弥陀如来、御身勞ありて、南無阿弥陀仏といふ本願をたてましまして、「まよひの衆生の一念に阿弥陀仏をたのみまらせて、もろもろの雑行をすてて、一向一心に弥陀をたのまん衆生をたすけずんば、われ正覚取らじ」と誓ひたまひて、南無阿弥陀仏と成りまします。これすなはちわれらがやすく極楽に往生すべきいはれなりとするべし。されば南無阿弥陀仏の六字のころは、一切衆生の報土に往生すべきすがたなり。このゆゑに南無と帰命すれば、やがて阿弥陀仏のわれらをたすけたまへるころなり。このゆゑに「南無」の二字は、衆生の弥陀如来にむかひたてまつりて後生たすけたまへと申すころなるべし。かやうに弥陀をたのむ人をもらさずすくひたまふころこそ、「阿弥陀仏」の四字のころにてありけりとおもふべきものなり。これによりて、いかなる十悪・五逆、五障・三従の女人なりとも、もろもろの雑行をすてて、ひたすら後生たすけたまへとたのまん人をば、たとへば十人もあれ百人もあれ、みなことごとくもらさずたすけたまふべし。このおもむきを疑なく信ぜん輩は、眞実の弥陀の浄土に往生すべきものなり。あなかしこ、あなかしこ。

番外編

月参りの時拝読文として読まさせていただいている御文が一月から変わりました。本来というか、順番でいえば五帖目の第七通になるのですが、いろいろ考えた末、一つ飛ばして第八通にしました。その理由は内容が悪いということではなく、私が皆さんと一緒に読む気になれないということです。一つ飛ばした御文の冒頭には今のご概念からすると女性を蔑視しているような表現があります。今年から読ませていただいている御文にも同じ表現があるのですが、飛ばしたものは露骨というか、断定されていますので、なおさら躊躇してまいります。

私は近頃、共生社会の実現が大事だと思ひ生活しています。そのなかでも性別による役割分担など性差別を少しずつ取り払って行かなくては思っています。思っているだけで私自身変わらないのですが、でもそうしたいと思っています。そのなかで冒頭から「女性は五障三従だ」と断定している言葉がのっているものを皆さんと一緒に声を出して読むということに違和感を覚えたわけです。七通目に全く教えないとは思ってませんが。

ということですが、今回ばかりあえず一つ飛ばして皆さんと読んでいこうと思つていきます。よろしくお願いいたします。

【あとがき】皆さんお元気ですか？今年も新年早々から大雪になりましたね。話によれば35年ぶりに積雪が1メートルを超したそうですね。また3日間1メートル積もったというのも記録的らしいですね。ですから除雪作業をされていても間に合わずあちらこちらで車が動かなくなっているのを見かけましたね。私も透析のため週3回病院に通っているのですが、いつも病院へは25分くらいで行くのですが、あの大雪の時は富山市内に入る道がほとんど止まったままですごく遠回りをして病院に向かい1時間半くらいかかってようやく到着しました。本日にちよつと歯車が狂うと当たり前であったことがあつという間に当たり前でなくなつてしまうものなのですね。このことを頭のどこかにしっかり記憶させておいて人生を送っていかないとね。



今月のことば

私たちにとってお参りは不要不急かもしれないが
阿弥陀さんにとって私たちに念
仏を届けることは一大事である

発行 眞宗大谷派 常 入 寺

電話 九三〇一〇一六一 富山市東老田七八七
住職携帯 (〇七六) 四三六〇八一六
発行責任 青井 和成
九〇一三七六四一三九八三



LINEは「いちから」
お参りの変更
法事の相談
その他

いちから@line

